

平成29年度湖南市国民健康保険特別会計

主な質疑

問 特定健診受診率の状況や今後の対策、医療費削減につながるシエネリック医薬品の使用率は。

答 健診の受診率は下がったが、受診後の特定保健指導、未受診者への勧奨、会場（ここぴあ）や実施曜日（日曜日）の工夫などの努力をしていく。ジェネリック医薬品の使用率は77・3％で県内3位。

反対討論

平成30年度から国民健康保険は県域化となったが、本来、市町が状況に応じて施策をとってきたので、県域で一律にしても改善されることはない。低所得者層に滞納が増えており、基金を運用しての軽減策をとる決算にない。

賛成多数で認定

平成29年度湖南市国民健康保険診療所特別会計

主な質疑

問 診療収入の中で、外来収入が大幅に減っている原因と、診療所の現状や今後の運営体制のあり方は。

答 医師の体調不良などによる患者数の減少で収入減となっているが、労働衛生センターは平成31年度には新任医師の着任を要望している。石部医療センターは市内開業医の高齢化で小児科医の不足が予想され、不採算部門であっても続けていく。

全員賛成で認定

平成29年度湖南市後期高齢者医療特別会計

主な質疑

75歳以上の被保険者数は増加傾向にあり、今後の保険料を見据えて、健康寿命を延ばすための政策に力を入れていきたいとの説明がありました。

反対討論

国民健康保険から外して新たに後期高齢医療制度とした国の施策に反対する。

賛成多数で認定

平成29年度湖南市介護保険特別会計

主な質疑

問 介護保険計画策定及び介護予防や生活支援サービス、医療介護の連携は。

答 働きながら介護する人への対策としては、小規模多機能型サービスを増やすこと、医療介護の連携には訪問診療のできる医師の確保が今後の課題である。

反対討論

高齢で要介護の人が増え、現役世代にとっても制度は不安である。利用者の負担増に対しては国の制度そのままではなく市独自の支援などが決算にあらわれていない。

賛成多数で認定

平成29年度湖南市訪問看護ステーション事業特別会計決算

主な質疑

単年度収支は前年度に比べ大幅な収支改善が図れた、との説明がありました。

主な質疑

問 在宅看取りへの対応や職員体制は。

答 重症の利用者が多くなっている。看護師が不足しているが、使命感を持ってがんばってもらっている。

全員賛成で認定

平成29年度湖南市水道事業会計剰余金の処分及び決算

資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金で補填したとの説明がありました。

主な質疑

問 水道老朽管の更新状況と、地震発生時の対応や新たな水源確保についての考え方、ま

主な質疑

た、民営化についての見解は。

の利子補填をしている。全員賛成で可決及び認定

答 石部地域は順次耐震化管に更新していく。地震時の対応は、自己水は安定性が課題で、水口からの上水管で確保していく。収益のあがらない事業なので民営化は難しい。

全員賛成で可決及び認定

平成29年度湖南市下水道事業会計剰余金の処分及び決算

資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、消費税資本的収支調整額、損益勘定留保資金、建設改良積立金で補填した、との説明がありました。

主な質疑

問 一般家庭や事業所における水洗化率の進捗状況と普及対策は。

答 水洗化率は93・9％。未接続世帯、事業者の追跡調査をし、接続見込みのあるところは勧奨、貧困世帯には融資

議会改革推進特別委員会

報告

(タブレット導入)

- ・膨大な資料のペーパーレス化
- ・情報伝達の円滑化
- ・危機管理上の緊急連絡
- ・各種資料の閲覧
- ・政務調査活動（インターネット）

9月議会から議場または委員会の会議室に議会が指定するタブレット型端末の持ち込みが可能となりました。



タブレットの写真